

# 令和3年度 事業報告書

自 令和 3年4月 1日  
至 令和 4年3月31日

公益財団法人中東調査会  
東京都千代田区平河町1-1-1平河町コート6階  
電話 03-6261-4554

令和3年度事業報告書

1 法人の概況

1 設立年月日 昭和35年（1960年）10月3日 [創立：昭和31年（1956年）2月]  
平成24年（2012年）4月1日公益財団法人へ移行

2 定款に定める目的

当調査会は、中東地域（北アフリカを含む）の安定した発展なくして国際政治経済環境の十全を期し得ない状況の下、エネルギー面でとりわけ脆弱な我が国の平和と繁栄、即ち国益にとり、この地域の国々との円滑な友好協力関係が死活的重要性を有していることについて国民の理解を深めるため、専門家の育成、内外研究機関及び企業との交流をふまえ、地域研究、地域関連情報の収集、専門的・実務的知見のできる限り広範な伝播、これに基づく適切な与論形成に努力し、もって我が国の平和と繁栄に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業

- (1) 中東地域及び域内諸国等及びこれらと深く関係する地域及び諸国等の政治、経済、社会、文化等についての研究及び調査
- (2) 前号に規定する研究及び調査に基づく資料の刊行
- (3) 現地事情紹介のための会議、講演会、セミナー、シンポジウム等、我が国における中東についての理解の増進及び知識の普及を図る啓発事業の実施及び実施協力
- (4) その他当調査会の目的を達するために必要な事業

4 所管管庁に関する事項  
内閣府

5 賛助会員の状況 (令和4年3月31日現在)

種類	当期末	前期末	前期末比増減	備考
法人会員	102 法人	94 法人	8 法人	
個人会員	222 人	226 人	△ 4 人	
(個人会員内訳)	特別個人会員：10人 普通個人会員：212人	特別個人会員：11人 普通個人会員：215人	特別個人会員：△1人 普通個人会員：△3人	

6 事務所

東京都新宿区西新宿7丁目3番1号 三光パークビル5階

7 役員等に関する事項 (令和3年3月31日現在)

(1) 理事、監事等 理事、監事等の常勤・非常勤の別：全員が無給・非常勤である（役員順：就任順）

役職	氏名	現職
会長	佐々木 幹夫	三菱商事(株) 元会長
理事長	齋木 昭隆	三菱商事(株) 取締役、元外務事務次官（国家公務員出身者）
副理事長	浅子 清	元駐バハレーン大使（国家公務員出身者）
常任理事	山内 昌之	東京大学名誉教授
常任理事	細野 哲弘	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 理事長、元資源エネルギー庁長官（国家公務員出身者）
監事	吉川 英一	(株)三菱東京UFJ銀行 顧問
監事	藤崎 一郎	公益財団法人 中曽根康弘世界平和研究所（NPI）理事長、元駐米大使（国家公務員出身者）

代表理事：佐々木幹夫、齋木昭隆（2人）、業務執行理事：浅子清（1人）、理事：山内昌之、細野哲弘（2人）、監事：藤崎一郎、吉川英一（2人）

(2) 顧問 (50音順)

役職	氏名	現職
特別顧問	有馬 龍夫	元日本国政府代表・元中東和平担当特使、元駐ドイツ大使（国家公務員出身者）
顧問	石井 敬太	伊藤忠商事(株) エネルギー化学品カンパニープレジデント
顧問	伊藤 仁	(株)日立製作所 執行役常務
顧問	大江 靖	コスモエネルギー開発(株) 代表取締役社長
顧問	木村 康	ENEOSホールディングス(株) 特別理事
顧問	佐々木 伸彦	独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 理事長
顧問	山東 理二	千代田化工建設(株) 代表取締役社長
顧問	高原 一郎	丸紅(株) 取締役副会長
顧問	竹村 章敏	トヨタ自動車(株) 中東部 部長
顧問	月岡 隆	出光興産(株) 代表取締役会長
顧問	寺井 一郎	(株)IHI 顧問
顧問	中村 邦晴	住友商事(株) 取締役会長
顧問	成瀬 正治	(株)ホテルオークラ東京 代表取締役社長
顧問	西 克司	アブダビ石油(株) 代表取締役社長
顧問	萩原 剛	サウディ石油化学(株) 代表取締役社長
顧問	服部 真二	セイコーホールディングス(株) 代表取締役会長兼グループCEO
顧問	林 欣吾	中部電力(株)代表取締役社長 社長執行役員
顧問	平井 康光	三菱商事(株) 常務執行役員
顧問	藤谷 泰之	三井物産株式会社 顧問
顧問	宮家 邦彦	(株)外交政策研究所 代表

以上、20人

## (3) 参与 (50音順)

役職	氏名	現職
参与	足木 孝	元駐クウェイト大使
参与	浦部 和好	元内閣官房副長官補(元駐エジプト大使、元外務省官房長)、元中東調査会評議員
参与	大野 元裕	埼玉県知事(元中東調査会客員研究員)
参与	恩田 宗	元駐サウジアラビア大使(一般社団法人総合研究フォーラム顧問)
参与	鏡 武	元駐シリア大使、元中東調査会副会長
参与	加藤 博	一橋大学名誉教授
参与	黒川 剛	元駐クウェイト大使
参与	小杉 泰	アジア日本研究所所長
参与	塩尻 宏	元駐リビア大使、元中東調査会副理事長
参与	内藤 正典	同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 教授
参与	八尾師 誠	東京外国語大学名誉教授
参与	目黒 孝敏	元駐バハレーン大使
参与	守村 卓	元三菱UFJ銀行副頭取、前中東調査会監事

以上、13人

(参考) 【定款第29条】

1. 理事 3名以上10名以内、 監事 1名以上2名以内

【定款第33条】

1. 代表理事2名のうち1名を会長、他の代表理事を理事長に選任する。

2. 3名以内の業務執行理事のうち1名を副理事長とすることができる。理事のうち1名を副会長、若干名を常任理事とすることができる。

【定款第41条】

1. 当調査会に、名誉顧問若干名、顧問40名以内及び参与30名以内を置くことができる。

2. 名誉顧問、顧問及び参与は、理事会の承認を得た上で理事長が委嘱し、直近の評議員会に報告するものとする。名誉顧問、顧問及び参与の資格、任期、解任については、理事会が定める。

3. 名誉顧問、顧問及び参与は無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用を支払うことができる。

## (4) 評議員 評議員の常勤・非常勤の別：全員が無給・非常勤である (50音順)

	氏名	現職
評議員	須藤 隆也	公益財団法人日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センターアドバイザー、元駐エジプト大使 (国家公務員出身者)
評議員	関場 誓子	聖心女子大学名誉教授
評議員	高島 肇久	海外通信・放送・郵便事業支援機構会長
評議員	渡辺 喜宏	一般社団法人 日本百賢アジア研究院理事長、学校法人 A I C J 鷗州学園理事長、公益財団法人 アジア学生文化協会評議員

以上、4人

(参考) 【定款第14条】

評議員 3名以上10名以内

## 8 職員に関する事項 (令和3年3月31日現在)

職員数 (人)	前期末比増減 (人)	平均年齢	平均勤続年数	備考
男子 3	-2	39.7 歳	2.5年	
女子 4	0	47.0 歳	11.5年	
合計 又は平均 7	-2	43.9 歳	7.7年	

## II 事業の状況

## 1 事業の実施状況

別紙「事業の実施状況」参照

## 2 役員会に関する事項

名称	開催年月日	決議事項等
定時理事会	令和3年6月2日	令和2年度事業報告書 令和2年度決算報告書 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等
定時評議員会	令和3年6月24日	令和2年度事業報告及び決算書類
第1回臨時理事会	令和3年8月27日	顧問の辞任及び後任顧問の選任
第2回臨時理事会	令和3年10月5日	中東調査会事務所の移転
第3回臨時理事会	令和3年12月20日	令和4年度事業計画書 令和4年度収支予算書 事務所移転について 受託規程の改訂
第1回臨時評議員会	令和3年12月27日	令和3年度第1回臨時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等 令和4年度事業計画書 令和4年度収支予算書 事務所移転について 定款の一部変更
第4回臨時理事会	令和4年2月9日	中東調査会事務所の移転

## 3 正味財産の状況並びに財産の状況の推移

単位：円

	前々期 令和2年3月期	前期 令和3年3月期	当期 令和4年3月期	備考
資産合計	65,677,738	71,939,320	77,501,372	
負債合計	10,078,672	11,357,119	16,802,850	
正味財産	55,599,066	60,582,201	60,698,522	

平成21年度から、「新々公益法人会計基準」（内閣府公益認定等委員会が平成20年4月11日に公表した『公益法人会計基準』の運用指針）を採用している。

## Ⅲ 法人の課題

当法人の対処すべき課題

## (1) 公益財団法人としての運営方針

当調査会は、平成24年4月1日付にて公益財団法人へ移行した。公益財団法人としての責務を果し、持続性を確保するために、当調査会への社会的需要に応えつつ、財政基盤を確固たるものとするのが、継続的な課題になる。当調査会はこの課題に対処すべく、調査研究・会員サービス・一般向けの情報発信という事業活動の一層の充実に取り組みたい。また近年の中東における不安定化や治安の悪化を背景に、邦人及び邦人企業の安全を強化するため、政府の対応にも協力しつつ、調査・分析を強化する。

## (2) 質の高い事業の推進

当調査会が充実した活動を行うためには、官公庁、企業、研究教育機関、および社会全体の中でその存在感を高めなくてはならない。そのためには、より質の高い広報活動の推進が求められる。また当調査会のこれまでの研究調査を踏まえ、法人会員・個人会員の関心に応えていくとともに、一般の人やメディアのニーズに的確に対応する情報発信を行う。従来の出版物、電子メール、ホームページの充実に加え、SNS (Facebook、Twitter) の新しい発信手段を活用することで、情報発信・広報体制の強化を図る。同時に、そのための基盤として調査・研究活動の体制を効率化し知的生産活動を拡充する。

## (3) 活動基盤の充実

当調査会が今後一層の質の高い事業展開を行っていくためには、その活動の財政的基盤を強化することが不可欠である。賛助会員の拡大、受託研究調査事業の開拓をはじめ会員および潜在的顧客層の関心の高いセミナー、フォーラムの開催、中東に関する研究への支援のさらなる拡大を図る。

以上

別紙：「事業の実施状況」

## 【公益目的事業その1】 中東に関する研究・調査事業

### ア 政治・経済・社会・文化等についての研究および調査 (中東資料センター)

中東の動向についての情報を現地の異なる政治的立場に立つメディア（新聞、テレビ、インターネット・サイト）、欧米の紙誌・通信社、日本の報道機関等を通じてより網羅的に収集した。

#### 1. 「日誌データベース」の更新

「日誌データベース」（中東地域の国別主要動向）をはじめとする中東各国に関する情報を幅広く収集・整理したデータベースの更新を行った。令和3年度入力データ数は9,650件（令和3年度末のデータ総数は平成5年以降、22万9,545件）。

令和3年の各国動向は『別冊・中東研究：中東各国動向（2021）』の刊行にあたって活用した。

#### 2. 「中東要人データベース」の更新

中東諸国の政治家を中心とした要人動向を整理し、昭和50年代末からデータベース化している。令和3年度末までにデータを収集した要人総数は2万5,864人。

#### 3. 中東諸国外交官等からの情報収集

外務省等の関係省庁・機関や在京の中東諸国大使館の外交官、中東に係るビジネスマンらから情報を収集した。その一環として、来日した外国諸機関関係者、政治家、研究者らとの会合を行い、中東情勢に関する情報収集・分析に努めた。また海外からの訪問者に対して日本の立場や政策について説明した。

##### (1) 外務省講師派遣事業によるアフガニスタン情勢に関する意見交換

令和4年3月4日（金）（オンライン形式）

パキスタン・イスラマバード政策研究所（IPRI）

青木 健太（中東調査会研究員）

#### 4. 関係研究機関との連携

当調査会研究員は、アラブ連盟、イラン政治・国際問題研究所、国際協力機構（JICA）、JETROアジア経済研究所、石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）、中曽根康弘世界平和研究所、日本国際問題研究所、法政大学現代法研究所、科学研究費助成事業基盤B「権威主義体制における分配政治の変容とアカウンタビリティ改革：中東諸国の比較研究」、科学研究費助成事業基盤B「リベラル世界秩序の新展開—グローバル化のバックラッシュと非西側諸国の対応」、科学研究費助成事業基盤B「中東の非国家武装主体の越境的活動に関する比較研究」、科学研究費助成事業基盤C「平和構築の力学と国家に関する研究」、東京外国語大学AA研共同利用・共同研究課題「現代ムスリム知識人の変容と交流」、武蔵野大学国際総合研究所「中東・中央アジア構造変動研究会」などの研究・調査事業に参加して、国内外研究機関との連携の強化と研究内容の向上に努めた。

### イ 受託調査

政府、民間より研究・調査プロジェクトの委託を受け実施している。調査結果は、委託者の意向により、そのままの形では公表できないものもあるが、調査の過程で得られた知見や人脈は当調査会の講演会や刊行物で活用した。

1. 情報収集・分析業務  
「テロ組織及びテロリスト情報の収集・分析業務」(委託者：外務省)
2. 横浜市立大学「令和3年度エクステンション講座」への講師派遣  
テーマ：「現代の中東・北アフリカ・南西アジアを理解しよう」  
定員：50名 於)横浜市立大学 金沢八景キャンパス  
  
第1回 令和3年10月18日(月)  
講師：青木 健太(中東調査会研究員)  
演題：「南西アジア(アフガニスタン・パキスタン)とターリバーン」  
  
第2回 令和3年10月21日(木)  
講師：金谷 美紗(中東調査会上席研究員)  
演題：「イスラエル・パレスチナ紛争の現在」  
  
第3回 令和3年10月25日(月)  
講師：高尾 賢一郎(中東調査会研究員)  
演題：「アラビア半島(湾岸諸国)とイスラーム」  
  
第4回 令和3年10月28日(木)  
講師：高橋 雅英(中東調査会研究員)  
演題：「リビア紛争の行方」  
  
第5回 令和2年11月4日(木)  
講師：金子 真夕(中東調査会研究員)  
演題：「建国100周年に向けたエルドアン政権の動向」
3. 笹川平和財団主催第2回エジプト研究会への講師派遣  
令和3年5月17日(月)  
講師：金谷 美紗(中東調査会上席研究員)  
演題「シーシー政権の市民社会統制」
4. 一般社団法人日本物流団体連合会「国際業務委員会」への講師派遣  
令和3年10月8日(金)  
講師：青木 健太(中東調査会研究員)  
演題「アフガニスタンの現状と今後の世界経済へ与える影響」
5. 笹川平和財団主催公開ウェビナー「トルコの近隣外交：域内対立緩和に向けた動き」講師派遣  
令和3年10月13日(水)  
講師：金谷 美紗(中東調査会上席研究員)  
\*パネリストとして参加。
6. 岡三証券株式会社主催「岡三ビジネスセミナー」への講師派遣  
令和3年10月14日(木)  
講師：青木 健太(中東調査会研究員)  
演題「アフガニスタンを巡る国際情勢～歴史、民族、地政学と今後の展望～」
7. 一般社団法人日本産業機械工業会ポンプ技術者連盟主催講演会への講師派遣  
令和3年10月22日(金)  
講師：青木 健太(中東調査会研究員)

演題：「アフガニスタンの現状と今後の経済・産業面への影響」

8. さいたま市立文蔵公民館主催「異文化理解講座／中東とイスラームの世界」への講師派遣  
令和4年2月19日（土）  
講師：金谷 美紗（中東調査会上席研究員）

9. 外務省「第5回中東における暴力的過激主義対策に関する対話」（オンライン形式）講師派遣  
令和4年3月15日（火）  
講師：高尾 賢一郎（中東調査会研究員）  
演題：Movement of “new religions” in Japan  
\* ディスカッションとして参加

## ウ メディアを通じての中東情勢解説

政治情勢、治安情勢や、中東諸国からの要人來訪などの機会に、報道機関や様々な情報発信媒体からの照会を受けた。イスラエルとハマースの衝突（5月）、アフガニスタン政権崩壊とターリバーン復権（8月）、9.11事件から20周年（9月）、リビア情勢（大統領選挙の動向）（12月）などについて、主要なテレビ、新聞、ラジオなどで解説した。

また、各々の専門分野に関して新聞・雑誌等に執筆を行った。寄稿先は、明石書店、朝日新聞、岩波書店、ウェッジ、外交、公研、しんぶん赤旗、青淵、中央公論新社、東京大学中東地域研究センター、フォーサイト、婦人公論（オンライン）、プレジデントオンライン、ミネルヴァ書房、MUFG BizBuddy など。

## エ 一般からの照会に対する回答

中東諸国の政治・社会情勢などについて一般からの電話等による照会に対応して背景説明や解説をすると同時に、中東調査会のホームページ（<http://www.meij.or.jp/>）で諸情勢の経緯や背景など詳細に情報を発信した。

令和3年度のサイト訪問者数は9万4,363人（令和2年度は11万1,517人）、ページ閲覧数は31万9,078回（令和2年度は37万4,599回）だった。

中東の知識普及のため、お茶の水女子大学、近畿大学、さいたま市立文蔵公民館、笹川平和財団日本記者クラブで講義・講演を行った。

また非常勤講師として青山学院大学、学習院女子大学、津田塾大学、東京外国語大学、放送大学、筑波大学で教鞭を執った。

## 【公益目的事業その2】 出版事業

### ア 『中東研究』

昭和 33 年に創刊された中東に関する研究論文、時事解説、資料等を掲載している中東総合専門誌（5 月、9 月、1 月に発刊している）。

#### 第 541 号（2021 年度 Vol. I）（700 部発行）

##### 【大使の見たままに】

サウジアラビア大変革の深層／上村 司

##### 【特集：イスラエル・アラブ諸国の関係正常化】

慢性化する混乱——コロナ禍の下の中東／池田 明史

アラブ諸国との関係正常化とイスラエル／中島 勇

諦めと期待の狭間で——関係正常化に対するパレスチナ自治区住民の反応／錦田 愛子

イスラエルとの関係正常化における UAE とハマス・レーンの国内事情／野村 明史

イスラエルとの国交正常化によるモロッコ国民の葛藤——自国の領土か、同胞との連帯か／白谷 望

スーダンにとってのイスラームとイスラエル——イスラーム主義者の言説を中心に／丸山 大介

##### 【最近の動向】

有志連合軍によるイエメン空爆の再拡大と対象地域の変化／吉田 智聡

##### 【書評】

中村 覚 監修、浜中 新吾 編著『イスラエル・パレスチナ』（シリーズ・中東政治研究の最前線第 3 巻）／保井 啓志

末近 浩太、遠藤 貢 編『紛争が変える国家』（グローバル関係学第 4 巻）／青木 健太

#### 第 542 号（2021 年度 Vol. II）（800 部発行）

～～中東調査会設立 60 周年記念号～～

##### 【中東調査会設立 60 周年のご挨拶】

中東調査会設立 60 周年に寄せて／佐々木 幹夫

我が国の正確な中東理解に向けて／齋木 昭隆

##### 【特別寄稿】

バイデン政権と世界——アメリカ外交の転換と課題／藤原 帰一

アラブ民族主義と軍と左派——アラブ 60 年の栄枯盛衰／酒井 啓子

イスラーム主義の変遷と今後の展望／小杉 泰

中東のエネルギー事情、そして中東とエネルギー情勢の相関／田中 浩一郎

農業立国エジプトのゆくえ／加藤 博

革命を超えた国民国家イラン——イラン近現代史の視点から見る現在のイラン／八尾師 誠

2021 年ガザ戦争とパレスチナ問題の位相／池田 明史

トルコ情勢の変遷と展望／内藤 正典



### 【現在の中東情勢】

シーシー政権の反対勢力戦略の効果とリスク／金谷 美紗

トルコとEU——埋まらない溝／金子 真夕

現代中東における「寛容」の回廊／高尾 賢一郎

アフガニスタンにおける国家建設と治安部門改革——「限定的な国家状態」での統治の一事例／青木 健太

アルジェリアを取り巻くエネルギー及び治安情勢——石油・ガス産業の課題と周辺諸国の不安定化の影響／高橋 雅英

## 第 543 号 (2021 年度 Vol. III) (700 部発行)

### 【大使の見たままに】

アルジェリアの最近の動向について／小川 和也

アフガニスタンの激震——不確かな将来／鈴木 光次

カタール——激動の中東を生き抜く知恵／須永 和男

### 【特集：中東諸国の政治体制の諸問題】

第 13 期大統領選挙に顕れるイラン・イスラーム革命体制の諸問題／松永 泰行

シリア大統領選挙——将来に向けた真の課題／青山 弘之

危機が続くレバノン——内憂外患の解決は可能か／小副川 琢

イスラエルの新政権と右派の盟主を巡る闘争／今野 泰三

アブドゥッラー2 世体制とヨルダンの社会運動——COVID-19 感染拡大で可視化された諸問題／吉川 卓郎

チュニジアの民主化の行方——サイド大統領の権力奪取とナフダ党の凋落／高橋 雅英

### 【最近の動向】

バイデン政権と中東——「9・11 戦争」の終結とその含意／中山 俊宏

政治不信と選挙制度変更が変えたもの——第 5 回イラク議会選挙 (2021 年 10 月 10 日)／山尾 大

米軍撤退とターリバーン復権——2021 年アフガニスタン政権崩壊の背景／青木 健太

## 『別冊・中東研究データ編』

平成 22 年度より、これまでのデータ編（紙媒体）を『別冊・中東研究』としてデジタル媒体で発刊している。

### 『別冊・中東研究：中東各国動向（2021）』（CD-ROM）（令和 4 年 3 月刊行）

#### 2021 年かわら版編、日誌データ編

##### <湾岸・アラビア半島地域>

アラブ首長国連邦（UAE）  
イエメン  
イラク  
イラン  
カタール  
クウェイト  
サウジアラビア  
GCC

##### <東地中海地域>

イスラエル  
シリア  
トルコ  
パレスチナ  
ヨルダン  
レバノン

##### <北アフリカ地域>

アルジェリア  
エジプト  
チュニジア  
モロッコ  
リビア

##### <その他>

アフガニスタン  
イスラーム過激派

##### <特別書下ろし：9.11 から 20 年—中東諸国の政治・対外関係の変化>

「9.11 から 20 年—中東諸国の政治・対外関係の変化」に寄せて

「9.11 から 20 年—中東諸国の政治・対外関係の変化」

## イ ニューズレター

中東各国に関する時事問題や分析記事を、ニュースレター「中東かわら版」として発行した。発行される各号を当調査会 HP に掲載して公開し、一般向けの中東に関する情報配信に努めた。令和3年度発行総数は137号（令和2年度発行総数は149号）。なお、イスラーム過激派についての情報発信は、平成30年度から会員サービス向上のため、会員専用の「イスラーム過激派モニター」を中心とする発信形式に改めた。

### 国別の代表的な記事（令和3年4月1日ー令和4年3月31日）

#### ★アフガニスタン

- ・令和3年4月15日 バイデン米政権が9月11日までの米軍撤退延期を決定
- ・令和3年8月16日 アフガニスタン政府が崩壊
- ・令和4年3月24日 アフガン暦新年を迎えるも、ターリバーンが女子教育再開を撤回

#### ★UAE（アラブ首長国連邦）

- ・令和4年3月2日 エルドアン大統領の UAE 公式訪問
- ・令和4年3月2日 ウクライナ情勢を受けてアブダビ皇太子がプーチン大統領と電話会談
- ・令和4年3月22日 アサド大統領の UAE 訪問

#### ★アルジェリア

- ・令和3年6月16日 前倒し下院選挙の暫定結果
- ・令和3年9月6日 モロッコ迂回のガス供給体制の構築へ
- ・令和4年3月1日 ウクライナ危機を受け、欧州向けガス輸出の増加方針

#### ★イエメン

- ・令和3年12月24日 ハサン・イルロー・イラン大使の死亡
- ・令和4年1月18日 アブダビでの爆破攻撃
- ・令和4年3月29日 サウジ石油施設への攻撃とイエメン戦争の進捗

#### ★イスラエル

- ・令和3年5月21日 エジプト仲介で停戦合意
- ・令和3年6月15日 ベネット内閣の成立
- ・令和4年3月29日 アラブ諸国外相と多国間会談「ネゲブ・サミット」を開催

#### ★イラク

- ・令和3年4月9日 米軍撤収の発表とシーア派民兵
- ・令和3年9月21日 駐留米軍の年内撤収計画について確認

#### ★イラン

- ・令和3年6月21日 過去最低の投票率でライシー大統領が勝利
- ・令和3年8月30日 ライシー政権が組閣を経て本格的に始動
- ・令和4年1月25日 ライシー大統領のロシア訪問の意味

#### ★エジプト

- ・令和3年9月10日 エジプト・トルコ外交関係改善に向けた動き
- ・令和3年10月26日 全土非常事態宣言の解除
- ・令和3年11月19日 2022年のGOP27をシャルム・シェイフで開催

#### ★カタール

- ・令和3年8月23日 ターリバーンの政権奪取への反応
- ・令和3年10月27日 内閣改造
- ・令和3年12月7日 マクロン仏大統領の歴訪

#### ★クウェイト

- ・令和4年1月7日 新内閣発足

#### ★サウジアラビア

- ・令和3年4月28日 ムハンマド皇太子によるビジョン2030の中間報告他
- ・令和3年6月23日 イラン大統領選挙の結果への反応
- ・令和4年3月29日 サウジ石油施設への攻撃とイエメン戦争の進捗

#### ★シリア

- ・令和3年5月28日 アサド大統領の再選
- ・令和4年2月4日 イドリブ県での米軍軍事作戦で「イスラーム国」首領が死亡
- ・令和4年3月22日 アサド大統領の UAE 訪問

#### ★チュニジア

- ・令和3年7月26日 大統領が首相解任と議会の一時停止を発表
- ・令和3年12月14日 憲法改正及び前倒し議会選挙の実施へ

・令和4年3月31日 大統領が議会を解散

#### ★トルコ

- ・令和3年11月22日 トルコリラ史上最安値を更新
- ・令和3年11月25日 ムハンマド・ビン・ザーイド・アブダビ皇太子のトルコ公式訪問
- ・令和4年3月11日 ロシア・ウクライナ・トルコ外相の3カ国協議の実施

#### ★バハレーン

- ・令和4年3月29日 アラブ諸国外相と多国間会談「ネゲブ・サミット」を開催

#### ★パレスチナ

- ・令和3年5月6日 議会選挙・大統領選挙・PNC選挙の延期
- ・令和3年5月10日 東エルサレムでの大規模な衝突
- ・令和3年5月21日 エジプト仲介で停戦合意

#### ★モロッコ

- ・令和3年9月10日 下院選挙の暫定結果、イスラーム主義政党の大敗
- ・令和3年9月13日 ムハンマド6世国王が新首相を任命
- ・令和3年10月11日 アハンウーシュ内閣の成立

#### ★ヨルダン

- ・令和3年4月6日 ハムザ王子らの逮捕
- ・令和3年6月15日 ハムザ王子関係者逮捕と「世紀の取引」の関係

・令和3年10月12日 内閣改造（ハサーウナ第4次内閣の成立）

#### ★リビア

- ・令和3年12月27日 大統領選挙の実施延期
- ・令和4年3月8日 東部の議会が新政府を承認、再び「1国2政府」へ
- ・令和4年3月18日 ロシア産ガスの代替調達先としてのリビア

#### ★レバノン

- ・令和3年7月16日 サアド・ハリリー次期首相の辞任と組閣断念
- ・令和3年9月17日 ナジブ・ミーカーティ内閣の成立
- ・令和3年12月6日 レバノン・湾岸アラブ諸国の関係悪化とクルダーヒー情報相の辞任

#### ★イスラーム過激派モニター

- ・令和3年8月 令和3年3号 サヘル地域のイスラーム過激派：フランスのバルカン作戦終了発表への反応
- ・令和3年8月 令和3年7号 ターリバーンのアフガニスタン制圧とイスラーム過激派全体への影響に関する考察
- ・令和4年3月 令和3年17号 「イスラーム国」の新首領にアブー・ハサン・ハーシミー・クラシー  
(全タイトルは24~25頁参照)

## ウ 「中東・北アフリカ年鑑」

利用率を高めるため平成24年度から『別冊・中東研究データ編』と合併させ『別冊・中東研究：中東各国動向』として発刊している。この刊行形態を継続する。

## 【公益目的事業その3】 広報・交流事業

### ア 中東情勢講演会等

中東地域の認識の深化や基本的知識を広めることを目的に、令和3年度は14回開催した。案内は、会員のみならず中東に関心を持つ一般の登録者に電子メールで案内するほか、中東調査会のホームページでも広く参加者を募っている。

令和3年度の電子メールによる案内先は、法人会員1,466人、個人会員242人、当調査会が開催する講演会に関する情報提供を希望された非会員1,499人。

令和3年度の参加申込者総数は1,108人(79人/回)、うち非会員の申込者は141人(10人/回)。各回の参加者における会員・非会員の割合は下記表を参照のこと。

1. 令和3年4月21日(水)(Zoomウェビナー)  
講師：能化 正樹(駐エジプト特命全権大使)  
演題：「エジプト情勢と日エジプト関係」
2. 令和3年5月10日(月)(Zoomウェビナー)  
講師：清水 信介(駐チュニジア特命全権大使)  
演題：「革命から10年を経たチュニジア情勢と日チュニジア関係」
3. 令和3年6月7日(月)(Zoomウェビナー)  
講師：錦田 愛子(慶應義塾大学法学部政治学科准教授)  
演題：「緊迫するイスラエル・パレスチナ——ユダヤ・アラブ衝突の激化の背景」
4. 令和3年6月22日(火)(Zoomウェビナー)  
講師：岡田 隆(駐アフガニスタン特命全権大使)  
演題：「アフガニスタン和平の可能性」
5. 令和3年8月26日(木)(Zoomウェビナー)  
講師：青木 健太(中東調査会研究員)  
演題：「ターリバーン復権の意味と展望」
6. 令和3年8月27日(金)(Zoomウェビナー)  
講師：モハメッド・エルーミ(駐日チュニジア共和国大使)  
演題：「Tunisia's recent political developments 2021」
7. 令和3年9月21日(火)(Zoomウェビナー)  
講師：鈴木 量博(駐トルコ特命全権大使)  
演題：「最近のトルコ情勢」
8. 令和3年10月5日(火)(Zoomウェビナー)  
講師：篠塚 隆(駐モロッコ特命全権大使)  
演題：「モロッコ情勢と日・モロッコ関係」
9. 令和3年11月15日(月)(Zoomウェビナー)  
講師：嶋崎 郁(駐ヨルダン特命全権大使)  
演題：「最近のヨルダン情勢と日本・ヨルダン関係」
10. 令和3年12月1日(水)(Zoomウェビナー)  
講師：酒井 啓子(千葉大学グローバル関係融合研究センター長)

演題：「9.11後の「対テロ戦争」が生んだもの：IS、内戦、宗派対立」

講師：藤原 帰一（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

演題：「権力の限界－覇権後退の中の世界」

11. 令和3年12月14日（火）（Zoom ウェビナー）  
講師：大久保 武（駐レバノン特命全権大使）  
演題：「最近のレバノン危機と地域情勢」
12. 令和4年1月28日（金）（Zoom ウェビナー）  
講師：天寺 祐樹（駐リビア臨時代理大使・リビア特別調整官）  
演題：「国政選挙をめぐるリビア情勢」
13. 令和4年2月2日（水）（Zoom ウェビナー）  
講師：松永 泰行（東京外国語大学大学院教授）  
演題：「ライスィー政権下のイラン－課題と展望－」
14. 令和4年3月9日（水）（Zoom ウェビナー）  
講師：河野 章（駐アルジェリア特命全権大使）  
演題：「最近のアルジェリアの政治経済情勢～コロナ禍における「新生アルジェリア」の行方～」

## イ 中東連続講演会

研究員発表会及び各国の駐日大使によるシリーズ講演会を、令和3年度は9回開催し、会員及び非会員に幅広く案内を行った。なお、「駐日大使によるシリーズ講演会」は書面インタビューのため参加者人数に含めない。

1. 令和3年4月12日（書面インタビュー）  
駐日中東大使に聞く 第4回 チュニジア  
モハメッド・エルーミ（駐日チュニジア共和国特命全権大使）
2. 令和3年5月19日（書面インタビュー）  
駐日中東大使に聞く 第5回 カタール  
ハッサン・ビン・モハメド・ラフィー・アルエマーディ（駐日カタール国特命全権大使）
3. 令和3年6月8日（書面インタビュー）  
駐日中東大使に聞く 第6回 アフガニスタン  
シャイダ・モハマド・アブダリ（駐日アフガニスタン・イスラム共和国特命全権大使）
4. 令和3年7月2日（書面インタビュー）  
駐日中東大使に聞く 第7回 アラブ首長国連邦  
シハブ・アフメド・モハメド・アルファヒーム（駐日アラブ首長国連邦大使）
5. 令和3年8月5日（書面インタビュー）  
駐日中東大使に聞く 第8回 モロッコ  
ラシャッド・ブフラル（駐日モロッコ王国特命全権大使）
6. 令和3年12月21日（書面インタビュー）  
駐日中東大使に聞く 9回 イスラエル

ギラッド・コーヘン（駐日イスラエル大使）

7. 中東情勢分析発表会 1

令和3年7月5日（月）（Zoom ウェビナー）

演題：「バイデン政権の対中東政策と安全保障への影響」

「米軍アフガニスタン撤退を受けた今後の展開：ターリバーン指導部の動向に着目して」

（研究員 青木 健太）

「過激主義組織の動向とバイデン政権の影響」（研究員 高尾 賢一郎）

8. 中東情勢分析発表会 2

令和3年10月22日（金）（Zoom ウェビナー）

演題：「最近のチュニジア及びアルジェリア情勢」（研究員 高橋 雅英）

「シーシー政権の体制安定化戦略」（上席研究員 金谷 美紗）

9. 中東情勢分析発表会 3

令和4年3月18日（金）（Zoom ウェビナー）

演題：「最近のトルコ情勢」（研究員 金子 真夕）

## ウ 中東を知るセミナー

COVID-19 感染拡大を背景に、会員にとっては出入国規制等にかかわる流動的な現地情報の需要が極めて高かったため、各国・地域の基礎的な情報や経年的な動向分析に主眼を置いた本セミナーは実施せず、代わりに COVID-19 感染拡大状況を含めた直近の情報提供を中心とする現地大使の講演会実施を優先した。

表：中東情勢講演会、中東連続講演会、中東を知るセミナー参加者数

項目	日付	講演者	会員	非会員	合計	非会員割合	
ア	1	令和3年4月21日	能化 正樹	69	5	74	7%
	2	令和3年5月10日	清水 信介	39	13	52	25%
	3	令和3年6月7日	錦田 愛子	76	3	79	4%
	4	令和3年6月22日	岡田 隆	49	14	63	22%
	5	令和3年8月26日	青木 健太	109	17	126	13%
	6	令和3年8月27日	モハメッド・エルーミ	27	4	31	13%
	7	令和3年9月21日	鈴木 量博	55	8	63	13%
	8	令和3年10月5日	篠塚 隆	30	11	41	27%
	9	令和3年11月15日	嶋崎 郁	45	0	45	0%
	10	令和3年12月1日	酒井 啓子 藤原 帰一	50	6	56	11%

	11	令和3年12月24日	大久保 武	40	4	44	9%
	12	令和4年1月28日	天寺 祐樹	42	6	48	13%
	13	令和4年2月2日	松永 泰行	76	15	91	16%
	14	令和4年3月9日	河野 章	33	14	47	30%
イ	1	令和3年7月5日	中東情勢分析発表会 1	93	3	96	3%
	2	令和3年10月22日	中東情勢分析発表会 2	71	13	84	15%
	3	令和3年10月22日	中東情勢分析発表会 3	63	5	68	7%
		<b>令和3年度合計</b>		<b>967</b>	<b>141</b>	<b>1108</b>	<b>13%</b>
		<b>(参考) 令和2年度合計</b>		<b>927</b>	<b>100</b>	<b>1027</b>	<b>11%</b>

## エ 中東大使を囲む会（意見交換会）

中東に在勤する日本大使が東京で一同に会する機会をとらえて開催しているレセプション形式の会合。法人・個人会員、非会員の方々と大使との間の意見交換の場を提供している。

COVID-19 感染対策のため、今年度は実施せず。

## オ 中東調査会ホームページ

ホームページ (<https://www.meij.or.jp/>) を開設しており、会員のみならず一般にも広く中東関連情報を提供している。令和3年度の年間アクセス数は31万9,078回。



## ア トップミーティング（朝食会等）

法人会員の最高幹部レベルならびに特別個人会員を対象とした会合で、国際情勢等に関して外務省幹部他、政府関係者・民間有識者による講演に加え意見交換を行う。

1. 令和3年4月9日 於)ホテルオークラ  
講師：山崎 幸二（統合幕僚長）  
演題：「日本の安全保障」
2. 令和3年4月26日 於)ホテルオークラ  
講師：横井 裕（前駐中華人民共和国特命全権大使）  
演題：「中国勤務を終えて-日中関係の展望」
3. 令和3年5月14日 於)ホテルオークラ  
講師：安藤 裕康（東京国際映画祭チェアマン）  
演題：「日本のソフトパワー」
4. 令和3年6月30日 於)ホテルオークラ  
講師：橋本 聖子（東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長）  
演題：「東京2020大会に向けて」
5. 令和3年7月2日 於)ホテルオークラ  
講師：上村 司（外務省アラブ地域担当大使）  
演題：「いま中東で起きている事」
6. 令和3年7月13日 於)帝国ホテル  
講師：小林 賢一（外務省アジア大洋州局南部アジア部長）  
演題：「最近の南アジア情勢」
7. 令和3年9月1日 於)帝国ホテル  
講師：船越 健裕（外務省アジア大洋州局長）  
演題：「最近の北東アジア情勢と日本」
8. 令和3年9月16日 於)ホテルオークラ  
講師：孔 鉉佑（中華人民共和国駐日本国特命全権大使）  
演題：「日中関係の現状と今後の展望」
9. 令和3年10月6日 於)ホテルオークラ  
講師：蔡 明耀（台北経済文化代表処副代表）  
演題：「台湾をめぐる情勢」
10. 令和3年11月9日 於)帝国ホテル  
講師：長岡 寛介（外務省中東アフリカ局長）  
演題：「最近の中東・北アフリカ情勢」
11. 令和3年11月10日 於)ホテルオークラ  
講師：下斗米 伸夫（神奈川大学特別招聘教授、法政大名誉教授）  
演題：「日露関係の展望」

12. 令和3年12月9日 於)ホテルオークラ  
 講師：木内 登英 (野村総合研究所エグゼクティブ・エコノミスト)  
 演題：「激変する内外経済・金融情勢」
13. 令和4年1月13日 於)ホテルオークラ  
 講師：森 健良 (外務事務次官)  
 演題：「2022年の日本外交の展望」
14. 令和4年1月14日 於)帝国ホテル  
 講師：市川 恵一 (外務省北米局長)  
 演題：「バイデン政権の現状と日米同盟」
15. 令和4年2月9日 於)ホテルオークラ  
 講師：北村 滋 (前国家安全保障局長)  
 演題：「経済安全保障とは何か？」
16. 令和4年3月14日 於)ホテルオークラ  
 講師：兼原 信克 (同志社大学特別客員教授)  
 演題：「最近の国際情勢と日本の安全保障」
17. 令和4年3月29日 於)帝国ホテル  
 講師：赤堀 毅 (外務省地球規模課題審議官)  
 演題：「国際的なルール形成とマルチ外交の現実：サイバーセキュリティと気候変動を例に」

## イ 「中東トピックス」、「中東分析レポート」等

平成19年11月に創刊された賛助会員(法人)幹部役員及び特別個人会員に郵送配布している。発行の約1週間後に当会ホームページの法人・個人会員限定ページにも掲載している。

### 発行概要(令和3年4月1日ー令和4年3月31日)

#### 1. 「中東トピックス」

各月の重要事項を中東調査会研究員が分析・評価したレポート。毎月月初に郵送配布。

##### 令和3年4月

- ・アフガニスタン：米軍撤退が開始
- ・パレスチナ：選挙延期の決定
- ・トルコ：キプロス問題に関する5+1非公式協議の開催
- ・イラン：ザリーフ外相が革命防衛隊を批判する音声が出た
- ・チュニジア：新型コロナウイルス感染拡大の第3波に直面
- ・サウジアラビア：ビジョン2030の経過報告

##### 令和3年5月

- ・イスラエル・パレスチナ：イスラエル軍とガザ地区武装勢力が戦闘
- ・イエメン・イラク：パレスチナ情勢をうけた抗議運動

- ・モロッコ：西サハラ問題をめぐりスペインと関係悪化
- ・トルコ・エジプト：二国間の予備的協議を開催
- ・サウジアラビア：周辺国との関係改善に向けた動き
- ・シリア：アサド大統領の再選
- ・イラン：ウィーンでの米国との間接協議が難航

##### 令和3年6月

- ・イスラエル：ベネット連立政権の成立
- ・イラン：第13期大統領選挙でのライシー氏の当選とその影響
- ・アフガニスタン：元軍閥の再武装化が進行
- ・トルコ：イスタンブール・カナル・プロジェクト関連工事着工
- ・GCC：COVID-19感染状況とワクチン接種
- ・チュニジア：新型コロナウイルス感染拡大の第4波、

死者増加

### 令和3年7月

- ・イラン：ライシー次期政権が近隣外交重視姿勢を示す
- ・チュニジア：ナフダ党を取り巻く政治的緊張と地域情勢
- ・レバノン：ハリリー組閣断念、ミーカーティ元首相が組閣へ
- ・トルコ：米国の「人身取引報告書」に初めてトルコが掲載
- ・アフガニスタン：ロシア・中央アジア諸国が治安情勢悪化を警戒
- ・イラク：「過去最大規模」の COVID-19 感染拡大に突入

### 令和3年8月

- ・日本：茂木外務大臣の中東歴訪
- ・アフガニスタン：20年間に及ぶ米軍駐留を終了
- ・GCC：アフガニスタン情勢をめぐる思惑
- ・アルジェリア：モロッコとの断交を発表
- ・イラン：ライシー政権が始動
- ・イスラエル：ベネット首相とバイデン大統領の会談
- ・トルコ：大規模災害の断続的な発生
- ・リビア：2021年予算をめぐる政府と議会が対立

### 令和3年9月

- ・アフガニスタン：冬を目前に差し迫る人道危機
- ・カタール：アフガニスタン情勢への対応
- ・イスラエル：アラブ諸国との関係強化が進む
- ・トルコ：エルドアン大統領とプーチン露大統領の直接会談
- ・イラン：SCO 正式加盟承認とその影響
- ・リビア：議会が内閣不信任決議案を可決、政治的緊張が高まる

### 令和3年10月

- ・GCC：レバノン情報相への抗議
- ・イラン：ウィーン協議再開に向けた動きが活発化
- ・UAE：ドバイ国際博覧会 2020 が開幕
- ・トルコ：10カ国の駐トルコ大使が実業家カヴァラ氏の釈放を要求
- ・アフガニスタン：ハリールザード米特使の辞任
- ・リビア：外国軍及び外国人傭兵の撤退に関する協議
- ・イラク：議会選挙
- ・レバノン：ベイルート湾爆発事故の捜査の政治化と暴力化

### 令和3年11月

- ・UAE：トルコ・シリア・イランとの関係改善に向けた動き

- ・レバノン：情報相発言をめぐり湾岸アラブ諸国との対立が続く
- ・アフガニスタン：UAE、サウジアラビアが大使館活動を再開
- ・アルジェリア：モロッコ軍の空爆により自国民の死亡を発表
- ・イラン：中部エスファハーン州で水不足への抗議デモが発生
- ・トルコ：各地で物価高騰に対する抗議デモの発生
- ・リビア：大統領選挙への立候補表明をめぐる対立

### 令和3年12月

- ・イスラエル：イラン牽制の動き
- ・イラン：合同軍事演習「偉大なる預言者 17」の実施
- ・トルコ：アルメニアとの関係改善に向けた動き
- ・GCC：マクロン仏大統領の歴訪
- ・アフガニスタン：女性の権利に関する「信徒たちの長」特別法令が発出
- ・リビア：西部での石油生産停止

### 令和4年1月

- ・イエメン：アンサールッラーとサウジ・UAE 間の軍事衝突が激化
- ・イスラエル・パレスチナ：首脳・閣僚級会談の増加
- ・イラン：抵抗経済確立に向けた動き
- ・トルコ：チャウシュオール外相の中国訪問
- ・モロッコ：中国提唱の「一帯一路」の合同実施計画に署名
- ・アフガニスタン：ターリバーンが自爆攻撃部隊の結成を示唆

### 令和4年2月

- ・イスラエル：ウクライナ情勢への反応
- ・GCC：ウクライナ情勢への対応
- ・イラン：ライシー大統領がプーチン大統領と電話会談
- ・アフガニスタン：ターリバーンがアフガニスタン人の国外退避を制限
- ・トルコ：野党 6 党首が議会制復活を求めるロードマップを発表
- ・アルジェリア：ナイジェリアとのガスパイプライン計画の実施へ

### 令和4年3月

- ・イスラエル：アラブ人／パレスチナ人によるテロ事件が連続
- ・アフガニスタン：近隣諸国主導で活発な対外活動が展開
- ・UAE：ウクライナ情勢をめぐり、ロシア包囲網からは一定の距離
- ・イエメン：国内での戦線移動とサウジへの攻勢

- ・トルコ：林芳正外相との会談
- ・モロッコ：西サハラ問題でスペインと関係改善へ

- ・イラン：新年のスローガンを「生産：知識ベース、雇用創出」と発表

## 2. 「中東分析レポート」(令和3年度発行総数は14号)

中東の特定の問題に関し、外部執筆者または中東調査会研究員が詳細に分析したレポート。随時郵送配布。

- |            |  |
|------------|--|
| 令和3年5月19日  | バイデン政権発足後のイエメン戦争<br>研究員 高尾 賢一郎                                     |
| 令和3年5月27日  | 米軍撤退後のアフガニスタン和平の展望<br>——1989年ソ連軍撤退から何を学べるか——<br>研究員 青木 健太          |
| 令和3年6月16日  | 新たな展開を見せたパレスチナ情勢<br>——変わるか、紛争の構図——<br>協力研究員 中島 勇                   |
| 令和3年6月22日  | サウジアラビアの地域外交における諸課題<br>——ウラー宣言とバイデン米政権誕生を経て——<br>研究員 高尾 賢一郎        |
| 令和3年9月8日   | カタール・ターリバーン関係の推移と展望<br>研究員 高尾 賢一郎                                  |
| 令和3年9月22日  | アフガニスタン国民統合に向けた課題と今後の展望<br>——「部族」に着目したターリバーン暫定内閣の分析——<br>研究員 青木 健太 |
| 令和3年9月24日  | ターリバーンの勸善懲悪省<br>研究員 高尾 賢一郎   |
| 令和3年11月5日  | アフガニスタンの現状と日本経済・産業への影響<br>研究員 青木 健太                                |
| 令和3年11月18日 | リビア紛争：外国軍及び外国人傭兵の駐留問題<br>研究員 高橋 雅英                                 |
| 令和3年12月9日  | UAEの地域外交の動向と展望<br>——イスラエル・トルコ・シリアとの関係を中心に——<br>研究員 高尾 賢一郎          |
| 令和4年1月6日   | 2021年中東情勢の回顧と展望<br>中東調査会   |
| 令和4年2月16日  | ターリバーン統治の今後の方向性<br>～行動原理と諸課題に着目して～<br>研究員 青木 健太                    |
| 令和4年3月4日   | フランスの中東政策の新指針  |

——湾岸諸国との関係強化の狙い——

研究員 高橋 雅英

令和4年3月24日 ロシアのウクライナ侵攻と中東地域  
——中東諸国側の反応、中東諸国への政治・経済的影響——  
中東調査会

### 3. 「イスラーム過激派モニター」（令和3年度発行部数は19号）

平成30年度より発信形態を「かわら版」から会員専用の「イスラーム過激派モニター」に変更。

令和3年4月9日 犯行声明から見るイラク・シーア派民兵の動向

令和3年5月19日 ヒジュラ暦1442年のラマダーン月と過激派

令和3年6月30日 サヘル地域のイスラーム過激派：フランスのバルカン作戦終了発表への反応

令和3年8月5日 イラク国内の電力不足を誇る「イスラーム国」

令和3年8月13日 州都制圧後のターリバーン

令和3年8月19日 「イスラーム国」過去1年間の戦果

令和3年8月27日 ターリバーンのアフガニスタン制圧とイスラーム過激派全体への影響に関する考察

令和3年8月27日 「イスラーム国」がアフガニスタン・カーブル空港で自爆攻撃

令和3年9月1日 アル=カーイダ総司令部がターリバーンの「完全独立」を祝福

令和3年9月14日 「9.11」20周年にみるアル=カーイダの没落  
——アイマン・ザワーヒリー新作の分析——

令和3年9月17日 フランスがサヘル地域の「イスラーム国」の首領殺害を発表

令和3年10月5日 ターリバーン統治下の「イスラーム国」

令和3年10月26日 イスラーム国中央アフリカ州がウガンダのレストラン爆破を主張

令和3年11月17日 イスラーム国中央アフリカ州がウガンダの自爆攻撃を主張

令和4年1月25日 アフリカ諸国のクーデタとイスラーム過激派の動向

令和4年1月26日 「イスラーム国」がハサカ市のグワイラン刑務所を襲撃  
——シリアの「イスラーム国」の現在をどのように理解するか——

令和4年3月11日 「イスラーム国」の新首領にアブー・ハサン・ハーシミー・クラシー

令和4年3月23日 「イスラーム国」新カリフに対する各「州」の忠誠表明

#### 4. 「中東調査会月間活動誌」

中東調査会の活動を報告する広報誌。中東に関係する外務省人事及び要人往来も紹介。毎月月初に郵送配布。

#### ウ 「Daily News」の配信

中東の日誌データを、毎月ごとの国別に整理して電子メールにて法人会員に提供している。令和3年度は各国別に月1回発信。

#### エ リビア入国ビザ取得支援

リビアへのビザ申請には、アラビア語使用等特殊な要求がなされ、これを支援してきた経緯があるが、現在リビアは全土に「退避を勧告します。渡航は延期してください。」との外務省海外安全情報が出されている。従って、当調査会としてもビザ取得を支援する環境ではなく、海外安全情報に変更されていない為、平成23年度以降は実施していない。